未来へ継承すべき伝統建築・庭園・石垣技術

講演&パネルディスカッション

普請文化フォーラム2018

2018年4月28日(土)

13時～16時30分(受付開始12時)

明治大学アカデミーホール

(東京都千代田区神田駿河台1-1)

参加費1,000円

2018年2月に開催された無形文化遺産保護条約関係省庁連絡会議において、「伝統建築工匠の技：木造建造物を受け継ぐための伝統技術」が、2020年に登録されるユネスコ無形文化遺産（人類の無形文化遺産の代表的な一覧表）への提案案件として決定しました。伝統を未来につなげる会はこの成果・機会をとらえ、更なる前進に向け、「伝統建築工匠の技」の申請範囲を広げることを要望し、活動を続けていきます。

基調講演 「日本建築の伝統的な価値を巡って」

東京大学名誉教授・建築家

内田　祥哉

東京帝国大学第一工学部建築学科卒業。
逓信省、日本電信電話公社を経て、東京大学教授、明治大学教授、金沢美術工芸大学特認教授・客員教授、日本学術会議会員、日本建築学会会長を歴任。工学博士、工学院大学特任教授、日本学士院会員。

特別講演 「加藤清正の名城熊本城の大普請」
～4.16 あの熊本地震から2年～

奈良大学教授・城郭考古学者

千田　嘉博

奈良大学文学部文化財学科卒業。
大阪大学博士国立歴史民俗博物館助教授、奈良大学学長を歴任。専門は城郭考古学。特別史跡熊本城跡保存活用委員会の委員を務めるなど全国の城跡調査と史跡整備に関わる。日本城郭協会理事。

ユネスコ
無形文化遺産2020
文化庁提案案件決定

力を合わせ、実現していこう！

1 文化財建築物の「修理保存技術」だけでなく、伝統的な木造建築住宅などを新築する技術も含める。

2 選定保存技術に登録された13団体のみでなく、伝統的建築に関わる他の多くの職人・団体も加えていく。

3 伝統木造建築に加え、日本建築に欠かせない普請技術・文化である庭園、石垣の技術も加える。

「一般社団法人 伝統を未来につなげる会」　設立趣旨

日本人は古来から、自然を支配しようとか、自然に対抗しよう、という考えや姿勢をいささかも持たなかった。人間も自然の一部として認識していたから、暮らしも住まい方も、自然と一体化することを目ざしてきた。風雪や地震に耐える堅固で逞しく美しい構造体を 日本の大工は、何千年に至る長い歴史に培われた暮らしの叡智である「経験の科学」によってつくりあげてきた。木と土と紙の家は呼吸する家であった。和風の佇まいや、庭と触れ合う詩情漂う空間、家の内でも外でも自然の機微に触れることによって世界に誇る日本固有の伝統文化も生まれ、発展した。近代合理主義が世界的な行き詰まりを見せている 21 世紀に、我々日本人はもう一度、すぐれた日本の伝統文化を掘りおこし、その知恵に学び、次代へつなぐ努力を迫られている。伝統建築及び普請の文化の技と叡智を広く未来に伝え、さらに活用・進化させることが、日本人が古くから営み続けた、自然との共生、木材資源の流通、森林の活性化等、本来の日本人の姿と心を復活させるであろう。

会長　中村 昌生

基調講演　「日本建築の伝統的な価値を巡って」

内田　祥哉　東京大学名誉教授・建築家

日本の大工は、生きている木の性質を知り尽くし木の持つ力強さと美しさをどう引き出すかに腐心しながら、長い歳月の間、代々構築の技を磨いてきた。何千年に至る長い歴史に培われた暮らしの叡智・経験の科学によってつくりあげられた伝統建築構法の可能性と価値についてお話しいただきます。

特別講演　「加藤清正の名城熊本城の大普請」

～ 4.16 あの熊本地震から 2 年～

千田　嘉博　奈良大学教授・城郭考古学者

400年前の築城以来最大の危機といわれるほどの被害を受けた熊本城。大普請には国内外から多くの支援が寄せられ、再生は着々と進んでいます。城づくり・石垣普請の天才とうたわれた加藤清正が7年の歳月と、当時の土木・建築の粋を集めて普請した名城の再生に向けた取り組みを、特別史跡熊本城跡保存活用委員会の委員を務める千田先生にお話しいただきます。

パネルディスカッション　「伝統建築技術の継承・活用で切り拓く日本の未来 」

日本の多様な技術の集大成ともいうべき伝統建築技術の伝承・活用は、国際的な観光資源としての街並・景観づくり、国内外に人気の古民家再生による地方創生、更には豊かな日本の森林資源利活用等、日本経済の活性化にもつながります。各分野を代表するパネリストの方々が、伝統技術の継承・進化がもたらす多様な「価値」について語り合います。

コーディネーター

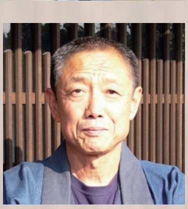
後藤　治

工学院大学理事長。
1988 年文化庁入庁。文化財保護部 (現文化財部) 建造物課、文部技官、同文化財調査官等を経て現職。日本建築士会連合会ヘリテージマネージャーネットワーク協議会運営委員長。

パネリスト

進士　五十八

福井県立大学学長。造園学者。
ランドスケープ・アーキテクトとして緑のまちづくり、環境学者として活躍。2007 年紫綬褒章受章。



パネリスト

島崎　英雄

専門学校 職藝学院 オーバーマイスター。
棟梁坂本国一へ弟子入り・修行、島崎工務店を創業。古民家の再生、古材活用、自然素材による住まいづくりを実践しつつ、職藝学院開学当初より職藝教育に携わり、木造建築における手仕事の基礎技能を指導する。

パネリスト

小林　正美

明治大学副学長。建築家・都市デザイナー。
丹下健三・都市建築設計研究所勤務後、ハーバード大学客員教授(2002)、NPO 法人「まちづくりデザインサポート」理事長、東京都台東区景観審議会会長、川崎市横須賀市景観審議会会長。

パネリスト

飯田　泰之

明治大学政治経済学部准教授。
内閣府規制改革推進会議委員、農林ワーキンググループ座長。
専門は経済政策、日本経済論。

最寄駅からのアクセス

■JR中央線・総武線、
東京メトロ丸ノ内線／御茶ノ水駅
下車徒歩約3分

■東京メトロ千代田線／新御茶ノ水駅
下車徒歩約5分

■都営地下鉄三田線・新宿線、
東京メトロ半蔵門線／神保町駅
下車徒歩約5分

お申し込み　**一般社団法人 伝統を未来につなげる会**　FAX　**0561-74-0769**

HP 申し込み専用フォーム　**http://dentoh-isan.jp/meijisympo-entry**

FAX申し込み

必要事項をご記入の上、上記FAX番号にお送りください。FAX確認次第、スタッフよりご連絡いたします。

ふりがな 名前：	TEL：	FAX：
住所：		
Email：		

個人情報の取り扱い	ご記入いただいた個人情報については、当法人「プライバシーポリシー」に従い、適切に取扱います。 一般社団法人伝統を未来につなげる会　http://denmi.jp/privacy-policy/	□ 同意する

主催　一般社団法人伝統を未来につなげる会　共催　伝統木造技術文化遺産準備会　公益社団法人ソーシャル・サイエンス・ラボ

後援　公益社団法人日本建築士会連合会　一般社団法人日本建築学会　明治大学社会連携機構震災復興支援センター　全国建設労働組合総連合　公益財団法人竹中大工道具館　これからの木造住宅を考える連絡会　NPO法人伝統木構造の会　NPO法人日本民家再生協会　NPO法人緑の列島ネットワーク　職人がつくる木の家ネット　公益社団法人日本左官会議　一般社団法人日本左官業組合連合会　日本漆喰協会